

第1回 DMVの導入・普及に向けた検討会 議事要旨

○議事概要

- ・ 山内委員を本検討会の座長に選任。
- ・ 資料1、2を鉄道局、資料3をJR北海道、資料4-1～4-4を富士市、熊本県、恵那市、徳島県がそれぞれ説明し、自由討議が行われた。

○委員からの主な意見等

(検討の方向性について)

- ・ 地域鉄道に対する地域の無関心を打破する手立てを考える必要。市場まかせではうまくいかない。
- ・ ソフト面の課題を洗い出し、それをこの検討会で解決していくべき。
- ・ バスとDMVの運用コスト等の比較も重要。
- ・ 観光資源としての活用と、地域内の公共交通の維持・再生のどちらに重きを置くかで方向性が変わる。

(DMVの活用方法等について)

- ・ 若者は見るだけの観光ではなく、新しい体験を求めている。DMVは、観光資源として大きな魅力を有する。
- ・ 観光の際の鉄道利用者の多くは高齢者であり、20代がやや増という状況にある中で、これらの層に受け入れられるのかよく検討する必要がある。観光交通として、ターゲットを絞ることにより、DMVの導入に適した地域が絞られてくるのでは。
- ・ 旅行者の多くが個人旅行なので、足が伸ばしづらい場所があるが、DMVであればフレキシブルに行ける。
- ・ 富裕層向けの貸切サービス等ができれば面白い。例えば、空港からの送迎。
- ・ 冬はストーブ列車、夏はDMVという形で、観光の看板になるので、早く導入したい。
- ・ 地域の公共交通の維持・再生という視点が重要。
- ・ 鉄道だけでなく、道路も走れるDMVは、街作りに及ぼす影響が大きいと考えられる。
- ・ DMVを地域の公共交通の主軸として考えている。観光だけでなく、公共交通と両面で考えて欲しい。
- ・ 鉄道は地域の防災の要としても重要。
- ・ 夕張市はコンパクトシティを目指しており、南北に走る夕張線を都市骨格軸として位置付け、沿線へ段階的に集約していく予定。現在、協議会を立ち上げ、DMVの導入に向けた検討しているが、市民のDMVの認知度は高く、歓迎するという意見も多い。

(その他)

- ・ 製造コストを下げる手立てが必要。
- ・ 乗り心地は初期モデルよりかなり改善されているが、レールの継ぎ目を改良すると更に改善できる。
- ・ 旅客の安全確保が第一。特に火災対策が重要。
- ・ 火災対策は車内の仕様を鉄道車両と同様のものに改造済み。また、橋りょうでの強風に対しては、鉄道車両並みに耐えられるというシミュレーション結果を得ている。
- ・ 車両を大型化すると、足回り部品への荷重が大きくなることや、左右のタイヤと線路の間隔が合わず駆動用タイヤが線路に載らない、といった問題が生じる。
- ・ 道路区間を時間通りに走行できない場合の対応が重要。

以上